

科 名：循環器科



医長・診療科長
赤尾 昌治

専門医資格等 日本循環器学会認定循環器専門医、
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員
京都大学臨床教授
京都大学非常勤講師

専門分野 循環器一般、不整脈、心房細動、医学教育

□スタッフ

平成23年10月1日時点

役職	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長 カテ室チーフ	阿 部 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医、指導医 日本心血管インターベンション治療学会専門医、指導医	虚血性心疾患、冠動脈インターベンション、臨床研究(冠動脈インターベンション、造影剤起因性腎症)	
医 師	益 永 信 豊	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器一般、カテーテル治療	
医 師	小 川 尚		電気生理、呼吸循環病態生理	
医 師	井 口 守 丈	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器一般、心不全、冠動脈CT	
医 師	石 井 充	日本内科学会認定内科医	循環器一般、カテーテル治療	
医 師	鵜 木 崇	日本内科学会認定内科医	循環器救急、心肺停止蘇生、低体温療法、虚血性心疾患	
医 師	高 林 健 介		循環器一般	
医 師	竹 中 淑 夏		循環器一般	
展 開 医 療 研究部部長	長谷川 浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医専門医 アメリカ心臓協会専門医(FAHA) アメリカ心臓病学会専門医(FACC) 日本禁煙科学会認定 禁煙支援医	心不全、虚血性心疾患、心血管危険因子管理・特に禁煙指導、心血管展開医療研究	
展 開 医 療 研究部室長	和 田 啓 道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器学、リスクファクター管理、予防医学	
医事管理部長	小坂田 元太	日本循環器学会認定循環器専門医、近畿支部評議員 日本内科学会認定内科医、指導医 日本超音波医学会 超音波専門医、指導医	循環器内科学、超音波医学	
医 長	中 島 康 代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、指導医	心不全、不整脈、心臓リハビリ	

□診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設
	日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設
	日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設

診療科モットー：「地域、世界、そして将来に貢献する循環器科」

1. 「地域」：命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2. 「世界」：より良い医療を探究する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3. 「将来」：指導者として人を教え育て、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

□代表的診療対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、不整脈、心不全、心原性ショック、心筋症、心筋炎、心臓弁膜症、感染性心内膜炎、心膜疾患、心タンポナーデ、高血圧、大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、静脈血栓症、肺塞栓症

□診療(業務)内容

心臓、血管系の疾病全般を扱います。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけていきます。

冠動脈疾患に対するカテーテル検査・治療が当科診療の中心です。知識も技術もともに“世界に通用する心臓カテーテル検査と治療”を提供するべくスタッフ全員で日夜頑張っております。2009年から下肢閉塞性動脈硬化症のカテーテル治療(PTA)を、また2010年春から頻脈性不整脈のカテーテルアブレーションを開始し、良好な治療成績をおさめております。さらに高度先進医療を積極的に推進し、心臓・血管系の疾病でお困りの皆さんに少しでもお役に立ちたいと願っています。

また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。

このたび、2011年1月の新病棟落成にあわせて、CCU、心臓リハビリテーションが開始となり、さらに4月からは256列冠動脈CTが導入され、診療内容が大幅に充実しました。そして心臓外科専門医の白神幸太郎医長が着任し、当院の悲願でありました開心術が6月から開始されました。これまで内科的治療では限界のあった重症心血管疾患の患者さんが、手術を受けて元気に退院して社会復帰され、我々も大変嬉しく思っています。

また、開心術の開始により、重症不整脈患者を対象とした植込型除細動器(ICD)、重症心不全患者を対象とした心臓再同期療法(両心室ペースメーカー)の実施施設基準を取得し、治療を開始しています。

入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2011年度	28.1	1223	8.3

外来患者数

	1日平均患者数	紹介率	逆紹介率
2011年度	82.0	76.1%	175.8%

主な手術・検査の件数など

	冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション	ペースメーカー植込
2011年	345件	770件	34件	23件	53件

□地域医療連携・広報活動

第3回伏見心血管病勉強会「院外心停止症例に対する当院の取り組み」 平成23年2月5日

第4回伏見心血管病勉強会「循環器疾患に対する外科治療」 平成23年9月3日

□学術活動報告(学会・研究発表など)

年	内		容
2011	The American College of Cardiology 61st Annual Scientific Session, Chicago, USA. 2011.3.	Highly Absorptive Curcumin Improves Left Ventricular Diastolic Function Regardless of Blood Pressure in Hypertensive Patients.	Tatsuya Morimoto, Hiromichi Wada, Yoichi Sunagawa, Masatoshi Fujita, Hideaki Kakeya, Atsushi Imaizumi, Tadashi Hashimoto, Masaharu Akao, Yasufumi Katanasaka, Genta Osakada, Hirofumi Kambara, Hiroki Shiomi, Takeshi Kimura, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa.
2011	第194回日本内科学会近畿地方会	検診での胸部X線異常を契機に発見された無症状の心房中隔欠損症の一例	濱谷康弘, 石井充, 竹中淑夏, 西尾真季, 小川尚, 船津順子, 金崎幹彦, 小坂田元太, 阿部充, 赤尾昌治
2011	第194回日本内科学会近畿地方会	20年前に失神発作を来とし、脳動静脈奇形と診断されていたBrugada症候群の一例	小川尚, 石井充, 谷口由里子, 鶴木崇, 益永信豊, 中島康代, 土井孝浩, 静田聡, 阿部充, 赤尾昌治
2011	第111回日本循環器学会近畿地方会	肺高血圧症を伴う孤立性肺動脈欠損症に対してポセタン治療を施行した一例	山下侑吾, 石井充, 小川尚, 竹中淑夏, 西尾真季, 鶴木崇, 益永信豊, 船津順子, 金崎幹彦, 中島康代, 和田啓道, 長谷川浩二, 小坂田元太, 中野爲夫, 阿部充, 赤尾昌治
2011	第111回日本循環器学会近畿地方会	完全房室ブロックを来とし、ペースメーカー埋込後にリード穿孔を来した心アミロイドシスの一例	森田絢子, 小川尚, 金崎幹彦, 竹中淑夏, 西尾真季, 鶴木崇, 石井充, 益永信豊, 船津順子, 中島康代, 和田啓道, 長谷川浩二, 小坂田元太, 中野爲夫, 阿部充, 赤尾昌治
2011	第111回日本循環器学会近畿地方会	エルゴメトリン負荷にて冠攣縮が証明された9日後に急性心筋梗塞を発症した一例	花田圭太, 石井充, 竹中淑夏, 西尾真季, 鶴木崇, 益永信豊, 小川尚, 船津順子, 金崎幹彦, 中島康代, 和田啓道, 長谷川浩二, 小坂田元太, 中野爲夫, 阿部充, 赤尾昌治
2011	第75回日本循環器病学会学術集会総会, 横浜 2011.8.3-4	Simultaneous monitoring of reactive oxygen species, calcium and mitochondrial potential during myocardial ischemia by real-time two-photon imaging of perfused rat hearts.	Moritake Iguchi, Masaharu Akao, Masashi Kato, Madoka Matsumoto-Ida, Toru Kita, Takeshi Kimura.
2011	第75回日本循環器病学会学術集会総会, 横浜 2011.8.3-4	α 1-Antitrypsin-low-density-lipoprotein Serves as a Marker of Smoking-specific Oxidative Stress.	Hiromichi Wada, Noriko Satoh, Shuichi Ura, Akira Yamada, Shuji Kitaoka, Masaharu Akao, Mitsuru Abe, Koh Ono, Tatsuya Morimoto, Masatoshi Fujita, Akira Shimatsu, Yuko Takahashi, Koji Hasegawa
2011	第75回日本循環器病学会学術集会総会, 横浜 2011.8.3-4	Serum Adiponectin Levels are Increased by Pathologically Induced Left Ventricular Hypertrophy.	Hiromichi Wada, Masaharu Akao, Nobutoyo Masunaga, Tomohide Takaya, Shuichi Ura, Akira Yamada, Rieko Takanabe-Mori, Mitsuru Abe, Junko Funatsu, Yasuyo Nakajima, Mikihiko Kanasaki, Genta Osakada, Tameo Nakano, Koh Ono, Noriko Satoh, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa
2011	第75回日本循環器病学会学術集会総会, 横浜 2011.8.3-4	Index of Lectin-like Oxidized Low-density-lipoprotein Receptor Is Independently Associated with Left Ventricular Systolic Dysfunction.	Hiromichi Wada, Nobutoyo Masunaga, Shuichi Ura, Akira Yamada, Masaharu Akao, Mitsuru Abe, Mikihiko Kanasaki, Genta Osakada, Tomohide Takaya, Tatsuya Morimoto, Masatoshi Fujita, Yoshiko Fujita, Yuko Satoh, Akira Shimatsu, Tatsuya Sawamura, Koji Hasegawa
2011	第75回日本循環器病学会学術集会総会, 横浜 2011.8.3-4	Serum Levels of Placental Growth Factor is Associated with Left Ventricular Hypertrophy in Men.	Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Masaharu Akao, Shuichi Ura, Akira Yamada, Tomohide Takaya, Mitsuru Abe, Maki Nishio, Junko Funatsu, Yasuyo Nakajima, Mikihiko Kanasaki, Genta Osakada, Noriko Satoh, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa
2011	第75回日本循環器病学会学術集会総会, 横浜 2011.8.3-4	Serum Levels of α 1-Antitrypsin-LDL were Associated With Severe Arteriosclerosis Obliterans.	Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada, Masaharu Akao, Shuichi Ura, Akira Yamada, Mitsuru Ishii, Takashi Unoki, Mitsuru Abe, Junko Funatsu, Maki Nishio, Hisashi Ogawa, Yoshika Takenaka, Yasuyo Nakajima, Mikihiko Kanasaki, Noriko Satoh, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa
2011	European Society of Cardiology Congress 2011, Paris, France. 2011.8.	α 1-Antitrypsin-low-density-lipoprotein serves as a marker of smoking-specific oxidative stress.	H. Wada, N. Satoh-Asahara, M. Akao, M. Abe, K. Ono, T. Morimoto, M. Fujita, A. Shimatsu, Y. Takahashi, K. Hasegawa.
2011	European Society of Cardiology Congress 2011, Paris, France. 2011.8.	Placental growth factor is a sensitive indicator of abdominal fat accumulation and increased insulin resistance after smoking cessation in men.	H. Wada, S. Kitaoka, S. Ura, M. Akao, M. Abe, T. Morimoto, M. Fujita, A. Shimatsu, Y. Takahashi, K. Hasegawa.

2011	European Society of Cardiology Congress 2011, Paris, France. 2011.8.	Serum VEGF-C levels are elevated in metabolic syndrome subjects.	H. Wada, S. Ura, S. Kitaoka, N. Satoh-Asahara, M. Akao, M. Abe, T. Morimoto, M. Fujita, A. Shimatsu, K. Hasegawa.
2011	第196回日本内科学会近畿地方会	ペースメーカーリードへの疣贅付着を伴う感染性心内膜炎の二例	高田秀明、阿部充、金崎幹彦、小川尚、小坂田元太、濱谷康弘、小田垣孝雄、小山弘、赤尾昌治
2011	第196回日本内科学会近畿地方会	発作性心房細動の発作開始一時間後に血栓性脳梗塞を発症した一例	高木大輔、小川尚、新井大輔、井口守丈、船津順子、和田啓道、中島康代、阿部充、赤尾昌治
2011	第196回日本内科学会近畿地方会	心肺蘇生後にtorsades de pointesを多発し、心電図の経時的変化からたこつば型心筋症が疑われた一例	高林健介、鶴木崇、竹中淑夏、石井充、益永信豊、小川尚、長谷川浩二、中野爲夫、阿部充、赤尾昌治
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	男性において血清の胎盤由来増殖因子レベルは左室肥大に関連する	益永信豊、和田啓道、赤尾昌治、浦修一、高谷智英、阿部充、西尾真季、船津順子、中島康代、金崎幹彦、小坂田元太、浅原哲子、島津章、長谷川浩二
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	血管内皮増殖因子Cは動脈硬化惹起性脂質異常と関連している	浦修一、和田啓道、北岡修二、浅原哲子、高谷智英、森利依子、尾野亘、赤尾昌治、阿部充、森本達也、藤田正俊、島津章、長谷川浩二
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	血清可溶性VEGF受容体2レベルは冠動脈疾患重症度と逆相関する	和田啓道、赤尾昌治、益永信豊、浦修一、鶴木崇、石井充、阿部充、船津順子、西尾真季、小川尚、竹中淑夏、中島康代、金崎幹彦、小坂田元太、中野爲夫、浅原哲子、島津章、長谷川浩二
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	血清 α 1-Antitrypsin-LDLは喫煙と密接に関連したマーカーである	浦修一、和田啓道、浅原(佐藤)哲子、北岡修二、赤尾昌治、阿部充、尾野亘、森本達也、藤田正俊、島津章、高橋裕子、長谷川浩二
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	LOX-indexは収縮不全患者において有意に上昇している	和田啓道、益永信豊、浦修一、赤尾昌治、阿部充、金崎幹彦、小坂田元太、高谷智英、森本達也、藤田正俊、藤田佳子、佐藤優子、島津章、沢村達也、長谷川浩二
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	貧血を伴う慢性腎臓病は、重症冠動脈疾患の独立した規定因子である	鶴木崇、和田啓道、赤尾昌治、益永信豊、石井充、阿部充、浦修一、船津順子、西尾真季、小川尚、竹中淑夏、中島康代、金崎幹彦、小坂田元太、中野爲夫、島津章、長谷川浩二
2011	第59回日本心臓病学会学術集会	α 1-anti-trypsin-LDLは閉塞性動脈硬化症の重症度と関連する	益永信豊、和田啓道、赤尾昌治、浦修一、石井充、鶴木崇、阿部充、船津順子、西尾真季、小川尚、竹中淑夏、中島康代、金崎幹彦、浅原哲子、島津章、長谷川浩二
2011	American Heart Association Scientific Sessions 2011, Orlando, USA. 2011.11.	Soluble Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-1 Serves as a Marker of Cardiovascular Risk in Chronic Kidney Disease Patients.	Hiromichi Wada, Shuichi Ura, Nobutoyo Masunaga, Masaharu Akao, Mitsuru Abe, Junko Funatsu, Yasuyo Nakajima, Mikihiro Kanasaki, Tameo Nakano, Koh Ono, Tatsuya Morimoto, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa.
2011	American Heart Association Scientific Sessions 2011, Orlando, USA. 2011.11.	Effects of Highly Absorptive Curcumin on Systolic and Diastolic Function in Hypertensive Patients with Left Ventricular Hypertrophy.	Tatsuya Morimoto, Hiromichi Wada, Yoichi Sunagawa, Masatoshi Fujita, Hideaki Kakeya, Hiroki Sasaki, Atsuhiko Imaizumi, Tadashi Hashimoto, Masaharu Akao, Genta Osakada, Hirofumi Kambara, Osamu Doi, Hiroki Shiomi, Takeshi Kimura, Akira Shimatsu, Koji Hasegawa.
2011	第112回日本循環器学会近畿地方会	起始異常を伴う冠動脈拡張症に急性心筋梗塞を認めた一例	高木大輔、石井充、小川尚、高林健介、竹中淑夏、鶴木崇、益永信豊、船津順子、金崎幹彦、中島康代、和田啓道、長谷川浩二、小坂田元太、阿部充、赤尾昌治
2011	第112回日本循環器学会近畿地方会	偶発性低体温による心肺停止に対しPCPSによる積極的な復温が奏効し社会復帰した一例	鶴木崇、阿部充、小川尚、高林健介、竹中淑夏、石井充、井口守丈、益永信豊、船津順子、金崎幹彦、中島康代、和田啓道、長谷川浩二、小坂田元太、赤尾昌治
2011	第112回日本循環器学会近畿地方会	PCPSからの離脱時に広範囲な心原性脳梗塞を生じた劇症型心筋炎の一例	竹中淑夏、石井充、小川尚、高林健介、鶴木崇、井口守丈、益永信豊、船津順子、金崎幹彦、中島康代、和田啓道、長谷川浩二、小坂田元太、阿部充、赤尾昌治
2011	第196回日本内科学会近畿地方会	難治性冠攣縮性狭心症にCa拮抗剤2剤併用とスタチンの増量が有効であった一例	袴田圭祐、鶴木崇、小川尚、高林健介、石井充、益永信豊、小坂田元太、阿部充、赤尾昌治
2011	第196回日本内科学会近畿地方会	左房内腫瘍様エコーを呈した食道裂孔ヘルニアの一例	佐田蓉子、小川尚、金崎幹彦、井口守丈、和田啓道、中島康代、小坂田元太、阿部充、赤尾昌治
2011	第196回日本内科学会近畿地方会	重症肺血栓塞栓症にt-PAを投与し肝実質内出血を合併した一例	高林健介、石井充、小川尚、竹中淑夏、鶴木崇、井口守丈、益永信豊、長谷川浩二、阿部充、赤尾昌治

2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Current Status of Clinical Backgrounds of Patients with Atrial Fibrillation in a Community-based Prospective Survey: The Fushimi AF Registry	Masaharu Akao, Yeong-Hwa Chun , Hiromichi Wada , Masahiro Esato , Tetsuo Hashimoto , Mitsuru Abe , Koji Hasegawa , Hikari Tsuji , Keizo Furuke
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Distinct Difference in Clinical Backgrounds of Atrial Fibrillation Patients between Private Clinics and Cardiovascular Centers: From the Fushimi AF Registry	Hikari Tsuji, Masaharu Akao , Yeong-Hwa Chun , Hiromichi Wada , Masahiro Esato , Tetsuo Hashimoto , Mitsuru Abe , Koji Hasegawa , Keizo Furuke
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Soluble Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-1 is a Novel Marker of Cardiovascular Risk in Association with Chronic Kidney Disease	Hiromichi Wada, Shuichi Ura , Nobutoyo Masunaga , Masaharu Akao , Mitsuru Ishii , Takashi Unoki , Mitsuru Abe , Mikihiko Kanasaki , Yasuyo Nakashima , Ko Ono , Tatsuya Morimoto , Akira Shimatsu , Koji Hasegawa
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Serum Levels of Vascular Endothelial Growth Factor-C are Inversely Associated with Severe Coronary Artery Disease	Takashi Unoki, Hiromichi Wada , Masaharu Akao , Shuichi Ura , Nobutoyo Masunaga , Mitsuru Ishii , Mitsuru Abe , Hisashi Ogawa , Moritake Iguchi , Yoshika Takenaka , Kensuke Takabayashi , Yasuyo Nakashima , Mikihiko Kanasaki , Genta Osakada , Akira Shimatsu , Koji Hasegawa
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Highly Absorptive Curcumin Improves Left Ventricular Diastolic Function in Hypertensive Patients with Left Ventricular Hypertrophy	Tatsuya Morimoto, Hiromichi Wada , Yoichi Sunagawa , Masatoshi Fujita , Hideaki Kakeya , Hiroki Sasaki , Atsushi Imaizumi , Tadashi Hashimoto , Masaharu Akao , Hidetoshi Suzuki , Yasufumi Katanasaka , Genta Osakada , Hirofumi Kanbara , Osamu Doi , Hiroko Shiomi , Takeshi Kimura , Akira Shimatsu , Koji Hasegawa
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Serum Levels of Vascular Endothelial Growth Factor-C are Associated with Dyslipidemia and Atherosclerosis	Shuichi Ura, Hiromichi Wada , Shuji Kitaoka , Noriko Satoh-Asahara , Takahiro Horie , Ko Ono , Masaharu Akao , Mitsuru Abe , Tatsuya Morimoto , Masatoshi Fujita , Akira Shimatsu , Koji Hasegawa
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Serum Levels of VEGF-C, but not VEGF-A, are Inversely Associated with Systolic Dysfunction	Mitsuru Ishii, Hiromichi Wada , Masaharu Akao , Shuichi Ura , Nobutoyo Masunaga , Takashi Unoki , Mitsuru Abe , Yasuyo Nakashima , Mikihiko Kanasaki , Genta Osakada , Noriko Satoh-Asahara , Akira Shimatsu , Koji Hasegawa
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Serofendic Acid, an Endogenous Substance Extracted from Fetal Calf Serum, Protects against Myocardial Ischemia-reperfusion Injury in Rats	Tadaaki Ioroi, Masaharu Akao , Toshiaki Kume , Moritake Iguchi , Masashi Katoh , Takeshi Kimura , Yasuhiko Izumi , Akinori Akaike
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Serum Levels of Vascular Endothelial Growth Factor-C are Inversely Associated with Future Cardiovascular Events	Nobutoyo Masunaga, Hiromichi Wada , Masaharu Akao , Shuichi Ura , Mitsuru Ishii , Takashi Unoki , Mitsuru Abe , Yasuyo Nakashima , Mikihiko Kanasaki , Ko Ono , Tatsuya Morimoto , Noriko Satoh-Asahara , Akira Shimatsu , Koji Hasegawa
2011	第76回日本循環器病学会学術集会総会, 福岡 2012.3.16-18	Long-term Clinical Outcomes of Right Ventricular Septal Pacing Compared with Right Ventricular Apical Pacing in Patients with Pacemaker Implantation	Hisashi Ogawa, Mikihiko Kanasaki , Kensuke Takabayashi , Yoshika Takenaka , Takashi Unoki , Mitsuru Ishii , Moritake Iguchi , Nobutoyo Masunaga , Yasuyo Nakashima , Genta Osakada , Hiromichi Wada , Koji Hasegawa , Mitsuru Abe , Masaharu Akao

□投稿論文など

年	内 容	
2011	High blood viscosity is closely associated with cigarette smoking and markedly reduced by smoking cessation. Shimada S, Hasegawa K, Wada H, Terashima S, Satoh-Asahara N, Yamakage H, Kitaoka S, Akao M, Shimatsu A, Takahashi Y. Circ J. 2011;75(1):185-9.	Shimada S, Hasegawa K, Wada H, Terashima S, Satoh-Asahara N, Yamakage H, Kitaoka S, Akao M, Shimatsu A, Takahashi Y.
2011	α 1-Antitrypsin Low-Density-Lipoprotein Serves as a Marker of Smoking-Specific Oxidative Stress. Wada H, Ura S, Satoh-Asahara N, Kitaoka S, Mashiba S, Akao M, Abe M, Ono K, Morimoto T, Fujita M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. J Atheroscler Thromb. 2011 Oct 26. [Epub ahead of print]	Wada H, Ura S, Satoh-Asahara N, Kitaoka S, Mashiba S, Akao M, Abe M, Ono K, Morimoto T, Fujita M, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K.
2011	Distinct characteristics of circulating vascular endothelial growth factor-a and C levels in human subjects. Wada H, Ura S, Kitaoka S, Satoh-Asahara N, Horie T, Ono K, Takaya T, Takanabe-Mori R, Akao M, Abe M, Morimoto T, Murayama T, Yokode M, Fujita M, Shimatsu A, Hasegawa K. PLoS One. 2011;6(12):e29351.	Wada H, Ura S, Kitaoka S, Satoh-Asahara N, Horie T, Ono K, Takaya T, Takanabe-Mori R, Akao M, Abe M, Morimoto T, Murayama T, Yokode M, Fujita M, Shimatsu A, Hasegawa K.